

若いなかま

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号

吉塚合同庁舎5F

TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003

E-mail: net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページ: https://fayd.jp/



九州産業大学付属九州高等学校
1年 松本友萌



令和4年度「家庭の日」「オアシス運動」
福岡市立津屋崎小学校4年 諫元妃莉



荏田町立馬場小学校
5年 山本亜美



九州産業大学付属九州高等学校
1年 山口もも



荏田町立馬場小学校
1年 古川美唯菜



遠賀町立遠賀中学校
1年 堀田みな実



福岡県立八幡中央高等学校
1年 金子未来



柳川市立垂見小学校
6年 田中もあ



芦屋町立芦屋小学校
3年 岡田陸



水巻町立伊左座小学校
2年 松家日々

最優秀賞

目次

令和5年度定時総会開催	2	県民会議の新規事業等	6・7
事業計画	3	「青少年育成 考」	8
青少年育成活動で表彰 (個人)	4	事務局だより	8
青少年育成活動で表彰 (団体)	5		
永年賛助会員に感謝状贈呈	5		

(公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。
(昭和45年社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)

公益社団法人 福岡県青少年育成県民会議 令和5年度 定時総会

とき：令和5年5月31日(水)
ところ：福岡リーセントホテル

総会の議案審議に先立ち、青少年育成団体等表彰及び永年賛助会員感謝状贈呈が行われました。総会に提出された議案は、審議・採決の結果、いずれも承認されました。令和5年度定時総会の時期となって、やっとコロナ禍以前の県民会議総会の姿が戻りました。

R5年(公社)福岡県青少年育成県民会議・定時総会



長井会長挨拶

「会長挨拶」に登壇した長井政典会長は「次代の社会を担う子ども達が新たな創造力、行動力等を身に付けるには、リアルな体験活動が重要と言われている。育成キャンプを始め、現在、県民会議自らも体験活動事業に取り組んでいるが、県民会議の体制を拡充し、この活動を更に進めたい」と意欲を示した。

そしてこの活動を前に進めるために「市町村や市町村民会議等が実施する「子ども達の体験活動事業」(「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」等、後6・7頁参照)を県民会議が支援していく」と述べ、「この事業



来賓挨拶する大曲副理事

が、子ども達に様々な体験活動の機会を提供するために、県民会議とのより一層の連携」を図るよう出席者に呼びかけた。
これに応じるように、ご来賓の服

部誠太郎福岡県知事(代理・福岡県副知事大曲昭恵氏)は、「本年度から県民会議と県との連携をより一層強化し、新事業である「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」を

スタートする運びとなった」と述べ、「このプロジェクトにあつては、県民会議を中心に市町村、地域団体、企業等多様な主体を巻き込みながら、子ども達に様々な体験活動を提供することで、子ども達が切磋琢磨しながら能力を磨き、チャレンジする力を身に付けていくことを目指す」と目標とする成果を語った。

また、ご来賓の香原勝司福岡県議会議長(代理・福岡県議会文教委員長笠和彦氏)は「3年間のコロナ禍の中、事業の参加者と関係者の安全確保を最優先とし、新型コロナウイルス感染症防止策を講じて事業を展開した長井会長を始め皆様方から感謝申し上げる」とねぎらいの言葉を送った後、「県議会としても、福岡県の未来を創る子ども達の健全な育成に向け、関係団体の皆様方とともに、しっかりと取り組んでいく」と決意を述べた。



来賓挨拶する笠委員長



令和5年度事業計画

基本方針（抜粋）：青少年の生き抜く力を育む体験活動の活性化や課題へのチャレンジ実現を支援する事業を新たに立ち上げるとともに、組織体制の充実を図り、県、市町村、市町村民会議、企業等と連携して青少年育成の各事業を展開していく。

1 青少年団体等の活動支援連携事業

- 青少年育成市町村民会議の活動支援・連携
- 地区協議会の活動支援
- 青少年関係団体等の顕彰
- 福岡県青少年育成アドバイザー連絡協議会の活動支援



2 青少年健全育成事業

- 少年の主張福岡県大会 令和5年8月27日（日） イイツカコスモスコモン
- 少年の野外学習事業（異年齢交流で育て！青少年育成キャンプ）
令和5年8月2日（水）～6日（日） 長崎県諫早市
- 青少年囲碁交流事業（実行委員会主催）
福岡県大会 令和5年7月30日（日） 福岡市
福岡県江蘇省青少年囲碁交流大会 令和6年3月下旬 江蘇省
- 青少年体験学習活動ボランティア養成事業



3 健全な家庭づくり推進事業

- 「家庭の日」「オアシス運動」の推進
作品募集 令和5年8月1日（火）～9月8日（金）
最優秀作品・優秀作品の表彰、展示、啓発カレンダーの作成
（アクロス福岡・県庁ロビー）
- 親子教室事業、よりよい親子関係講座事業 活動費を助成
- 乳幼児教育研修会 令和6年2月



4 広報啓発事業

- 広報紙「若いなかま」の発行 年3回（7月・11月・3月）
- 広報活動 令和6年2月 一般県民に向けた県民会議各事業のパネル展示
- 各種啓発資料の発行 少年の主張発表文集、野外学習報告書、広報啓発リーフレット、その他
- 県民会議ホームページによる啓発活動

5 未来子どもチャレンジ応援プロジェクト

- 市町村による体験活動を支援
- アンビシャス広場をはじめ子どもの居場所の体験活動を支援
- 高校生の体験活動の支援
- 体験活動の場や取組を情報発信
- 福岡県民会議の体制充実



令和5年度

青少年育成団体等表彰



永年にわたって青少年の健全育成活動に努め、その功績が顕著な6個人と4団体に表彰状が贈呈されました。
また、青少年の健全育成に深い理解を示し、支援に尽力された7団体と15個人賛助会員に感謝状が贈られました。
表彰された個人・団体の皆様を紹介します。

【個人表彰】

() は活動年数



安達 健治 氏

大野城市 (31年)

大野城南柔道クラブの指導者として同クラブ設立時から、地元の子どもたちを対象に、柔道を通して礼の精神を身に付けることで、相手を尊重する気持ち、助け合う心や連帯感を醸成し、切磋琢磨しながら心身ともに強く、社会や人のために貢献できる子どもを育成を目的として、毎週3回柔道の指導を通じた青少年の育成活動を行っている。



金子 孝之 氏

飯塚市 (33年)

「日本の文化を、社会の宝であり未来を

担う子供たちに伝えたい、健全に育ってほしい」との願いから、約30年前から地元の菰田小学校や飯塚小学校、鯉田小学校に自作の生け花を届ける活動等を行っている。

特に菰田小学校では、授業の一環としてそろばんや生け花を指導し、とりわけ6年生は社会で室町文化を学ぶ機会に併せてお茶や生け花を教えるなど、長年にわたり青少年の健全育成活動、奉仕活動を行い多大な貢献をしている。



嶋津 康彦 氏

田川市 (12年)

平成22年から田川市青少年育成連絡協議会の理事として活動に携わり、平成27年から同協議会の会長に就任し、以降会長職として8年間協議会の運営全般に携わり、青少年の健全育成に寄与している。

また、平成26年から3年間、弓削田中学校PTA会長を務め、家庭、地域と学校によりよい関係性の構築に尽力した。この間、

筑豊地区PTA連合会会長及び福岡県PTA連合会副会長を歴任し、それぞれの団体から表彰を受けている。

立鞆 和子 氏
太宰府市 (24年)

平成10年から少年相談員として地域の見守り活動や夜間街頭補導等を行い、地域の青少年の健やかな成長や非行防止のため尽力してきた。

この功績により、令和4年11月に太宰府市から市民活動賞を授与された。



堀内 弘樹 氏

太刀洗町 (13年)

平成21年度から令和4年度までの13年間、大刀洗町青少年育成町民会議副会長及び大刀洗校区民会議会長として職務を遺憾なく遂行した。特に、校区民に対して青少年育成の重要性を周知徹底するとともに、PTA、老人クラブ、学校及びコミュニティスクール等との連携を強化し、青少年の生活の充実と将来のための成長を支援してきた。

溝上 義昭 氏
八女市 (13年)

地元八女市の子ども達が加入する「日本空手協会八女南支部飛形道場」において、

11年にわたり毎週3回の指導を行っている。指導にあたっては、「稽古で涙して、試合で笑える」の理念のもと、子ども達にどのような指導をすれば成長するか、また楽しんで空手ができるかを常に考え稽古指導に励んでおり、同道場に通う小学校4年女子は、県大会で準優勝、九州大会個人2位という優秀な成績を収めている。
また、同氏はこれまでに通算330人の子どもに対する指導を行っており、少年の健全育成に大きく貢献している。



表彰された皆様



【団体の部】

() は活動年数

子ども支援ネットワーク
With Wind
宗像市 (10年)

「まちじゅうを子どもの遊び場に」をモットーに、10年以上、年間を通して子どもの居場所づくり等を実施しており、子供の居場所の提供、居場所に関わる人材発掘や人材育成を行い、青少年団体の活動促進を行っている。



また、活動の中で気になる子どもがいた際は、関係機関に情報提供するなど、行政とNPO法人の協働を促進している。

豊前市才尾住城長者会
豊前市 (22年)

朝夕の交通量が多く不審者も散見される交差点を見守る活動を行っている。活動時間は、登校時間である平日の朝7時過ぎから8時前までとし、下校時間である16時過ぎから17時前までである。活動時間中

は、児童の見守りや声かけ、交通安全指導を実施しており、一部の会員は約1キロメートルの通学路を児童とともに歩むなど、熱心に活動を行っている。



マザーグース 京都群荻田町 (30年)

平成5年の発足以来、毎年、オアシス運動啓発のため、荻田町内の全幼稚園・保育園(12団体)を対象に人形劇などの講演会を行っている。



また、「不易流行」をモットーに子どもたちに希望と人間らしい幅の広い心を育てるよう活動を行っている。

もじ少年自然の家
ボランティアサークル「いかり」
北九州門司区 (41年)

北九州市立もじ少年自然の家を活動の拠点としており、昭和56年の設立以来41年

の長きにわたり、子どもの健全育成やイベントを通じた子育て支援に取り組んでいる。そのほか、後継者育成に対する取り組みや環境美化活動等、地域への貢献も多大である。



永年賛助会員感謝状授与

◎20年賛助会員 (1団体1個人)

- ・(株)あらい
- ・香月 均

◎10年特別賛助会員 (2団体)

- ・福岡県信用農業協同組合連合会
- ・福岡県町村会

◎10年賛助会員 (4団体14個人)

- ・(株)三広
- ・福岡県商工会連合会
- ・福岡県農業協同組合中央会
- ・(株)千鳥饅頭総本舗
- ・秋吉 幸二
- ・奥 久志
- ・越智 康久
- ・権現 昭二
- ・田代 強一
- ・中村 香代子
- ・平野 学
- ・大橋 拾子
- ・尾座本 宣一
- ・金子 博
- ・陶山 正徳
- ・津上 正幸
- ・野口 和恵
- ・南 巧

※敬称略

社会の未来のために、私たちができることを。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

@ncbankofficial @ncbank_official

西日本FHI 西日本シティ銀行

県民会議の新規事業等

(公社) 福岡県青少年育成県民会議は、今までの取り組みに加え、新たに「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」を取り組むことになりました。ここでは、「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」とこの取組を主に進める「地域支援部会」を紹介します。

服部知事は、2月の定例県議会の議案説明で『未来を担う人づくり』では、青少年アンビシャス運動の成果を発展的に継承し、市町村や企業等の多様な主体が提供する、創意工夫を活かした体験活動を通じて、子ども同士が切磋琢磨しながら成長していくことを目指す「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」を新たに開始します。」と表明しました。

この取り組みは、50年間に渡り青少年健全育成を推進してきた県民会議の事業の一つの柱として推進していくこととなりました。

1 プロジェクトの推進体制

福岡県では、未来を見据え、「成長・発展」に向けて加速前進させるため、「1000億円の人づくり」を今年度予算の柱の一つに掲げています。福岡県の未来を拓いて、発展を担っていくのは「人」であり、『人財』の育成は大変



長することを目指しています。

このプロジェクトを推進するにあたっては、県と協働して(公社) 福岡県青少年育成県民会議(以下「県民会議」という。)が実施主体となることとなりました。また、県民会議は現在、4専門部会(総務部会、健全育成部会、家庭部会、広報部会)が、活動していますが、今回の新規プロジェクトを主に推進していく部会として「地域支援部会」を発足させます。地域支援部会の定数は他の部会と同様に8名で、県民会議が取り組む、諸青少年健全育成県民運動を他の専門部会等と連携し進めて行くこととなります。そして、これまで、県内の青少年育成市町村民会議等の地域の団体と連携して青少年育成事業を担ってきた県民会議が実施主体となることで、地域における青少年育成事業を活発に推

進することを目指しています。このため、今年度から新たに「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」が始動されました。このプロジェクトでは、市町村等と連携し、様々な体験活動を通じて、子ども同士が切磋琢磨し成

進することが期待されています。

2 プロジェクトの概要

このプロジェクトでは、市町村が地元企業や自治会などと連携・協力して自然遊びやキャンプといった体験活動を提供できるよう支援するとともに、放課後児童クラブや子ども食堂などの子ども居場所での体験活動を行う指導者を養成します。また、活動の場を提供してくださる企業をさらに増やしていくこととしています。



● 市町村による体験活動を支援

- ・体験活動を実施する市町村への補助
- ・体験活動コーディネーターを市町村へ派遣
- ・体験活動指導者の養成

● 子どもの居場所における体験活動を支援

- ・子どもの居場所へのコーディネーターの配置と体験活動を提供する企業の開拓
- ・子どもたちが創意工夫しながら体験し交流できる「折り紙ヒコキ大会」の開催
- ・アンビシャス広場への補助や保険加入等の支援

● 高校生の体験活動を支援

- ・社会課題などの解決にチャレンジする高校生に専門家によるアドバイスの実施
- ・過疎化などの地域課題について世界の仲間とボランティアネットワークを実施

● 体験活動の取組を情報発信

- ・専用ホームページや体験活動マップを作成し、市町村や企業が提供する体験活動の様子等を発信

● 県民会議の体制充実

- ・市町村や市町村民会議の取組を支援する地域支援部会の新設
- ・プロジェクトを効果検証し、県民会議への助言を行うアドバイザーボードの設置

3 進化し続けるプロジェクトに

子どもたちは、様々な体験・経験を通じ、多くの学びを得て、たくましく成長していきます。そのような機会を、たくさん子どもたちに提供していくためには、継続した取組が必要です。そのような取組とするためには、地元の方々に支えられた、地域に根ざした取組にすることが重要です。

新たに始動するプロジェクトでは、市町村が地元企業や自治会などと連携して取り組むことで、県内のあらゆる

場所で、

多くの方に参画

いただき、

地域の特色に

応じた様々な

体験活動を

提供でき

るよう

に取り組

んでいき

ます。

このプ

ロジエ

クトを

通じて、

未来に

向け

てチ

ャレン

ジする

ことが

できる

青少年

の育

成を

目指

します。



四、広報啓発事業

- ※広報紙「若いなかま」発行、パネル展、啓発資料発行等

五、未来子どもチャレンジ応援プロジェクト

※前述記載等の体験活動の支援等

県民会議の事業（詳細は3P参照）

一、青少年団体等の活動支援連携事業

※活動費の助成、諸研修会開催顕彰等

二、青少年健全育成事業

※少年の主張大会、「育成キャンプ」

青少年囲碁大会、青少年体験ボラン

ティア養成等

三、健全な家庭づくり推進事業

※「家庭の日」「オアシス運動」推進、

親子教室事業、よりよい親子関係講

座事業、乳幼児教育研修会等



FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。

ふくおかフィナンシャルグループは、まちや人が輝く場をともに創り、寄り添うことで、地域とともに、お客さまとともに成長していく存在となることを目指しています。

いちばん近くで いちばん頼れる いちばん先を行く

それが、私たちからお客さまへの約束です。

福岡銀行



事務局だより

主な行事 (令和5年4月1日〜令和5年7月31日)

- 4月 3日(月) 着任職員辞令交付 (田淵、澤渡、中牟田、木下、神原、森)
- 6日(木) 県青少年閉基大会監査
- 17日(月) 第1回総務部会
- 20日(木) 青連協議会
- 21日(金) 県民会議監査
- 25日(火) 第1回青少年閉基大会実行委員会
- 第1回理事会(以降第2回、5、31)
- 第1回広報部会 (以降5、9、6、12、26、7、3、10、18)
- 5月 26日(水) 第1回青連協常任委員会 市町村、市町村民会議、青少年育成運動推進指導員、青少年育成指導者研修会
- 第1回福岡県アンビシヤス広場連絡協議会幹事会 (以降6、15)
- 31日(火) 青連協議会、総会
- 第1回家庭部会 定時総会
- 6月 11日(日) ボランティア・サポーター研修会
- 第1回健全育成部会
- 18日(日) ボランティアアワーワークチャレンジ保護者向け説明会
- 27日(火) 第2回福岡県アンビシヤス広場連絡協議会幹事会
- 7月 1日(土) ボランティアアワーワークチャレンジ事前研修会
- 2日(日) 「育成キャンプ」参加者・保護者への事前説明会
- 9日(日) 第23回福岡県青少年閉基大会
- 30日(日) 第23回福岡県青少年閉基大会

新正会員・賛助会員紹介 (令和5年7月現在)

特別賛助会員 全国共済農業協同組合連合会福岡県本部

団体賛助会員

株式会社タイムク (福岡市) 株式会社共和テック (久留米市)

個人賛助会員

- 大森徹 (福岡市) 神原廣 (福岡市)
- 木下和樹 (福岡市) 小林文子 (福岡市)
- 澤渡裕文 (福岡市) 田淵慎一郎 (嘉麻市)
- 中牟田俊範 (春日市) 森文字 (筑紫野市)

赤い羽根共同募金



高齢者、障害者、子どもたちなどへの地域の福祉活動を支援します。「災害ボランティアセンター」の設置や運営にも役立ちます。

この広報紙は、共同募金の配分を受けて発行しています。

青少年育成 “考”

『専務理事兼事務局局長就任にあたって』



公益社団法人福岡県青少年育成県民会議理事・事務局長 田淵 慎一郎

本年4月、福岡県青少年育成県民会議の事務局長を務めることとなりました。県職員として38年間働いてまいりましたが、その間青少年育成に関する業務とは全く無縁だったこと、また、県民会議事務局長としても日が浅く経験不足です。このため、「青少年育成考」に合った内容をお書きすることは難しく、ここひと月程度の感想を述べさせていただきます。

3月下旬に県民会議事務局長の内示を頂いた際、令和5年度の福岡県の目玉事業である「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」を県民会議が中心となって推進していくというプランになっていることを知り、職員としての経験もなかったことから、驚きとともに正直不安を感じました。4月に入り事務局長としての業務がス

タートしました。県民会議の役員、専門部会委員の皆さん、市町村民会議をはじめ、様々な形で青少年の健全育成に関わっていらっしゃる企業、団体、個人の皆様とお話をさせていただいていく中で、これまで携わってこられた方々の熱い思いと強力なエネルギーを感じ、また、事務局職員みんなの仕事ぶりが、私の不安を吹き飛ばしてくれました。

5月8日には新型コロナウイルスも5類に移行し、これからスタートしていく県民会議のイベント等の取組にわくわく感で一杯です。県民会議事務局は関係の皆さんが活動しやすい環境を作っていくことが役割だと思っています。精一杯取り組んでまいりますので、皆さんの益々のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

5月31日4年ぶりに制限なしの青少年育成県民会議・定時総会が開催された▼今年度から人事・財政・組織が大きく変わる▼これまでの4専門部会(総務・健全育成・家庭・広報)に加え地域支援部会を設立▼この地域支援部会は新たな県民会議の大きな目玉でもある未来子どもチャレンジ応援プロジェクトの一環だが活動内容の詳細は明らかではない▼本号6・7ページにこのプロジェクトについて説明を掲載しているが概要のみで具体的な活動はこれからである▼広報はこれまで通り専門部会の行事を中心に取材し広報していく方針に変わりはない▼今年度は新設された地域支援部会の活動と新規事業未来子どもチャレンジプロジェクトの取組に注目しその内容を伝えていきたい。

県民会議広報部会長 馬場京子

青少年の健全育成のために

賛助会員入会のお願い

次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議は、少年の主張大会、野外学習など、様々な活動をしています。

県民会議では、賛助会員の募集を行っています。会費は左下のとおりです。電話(092-643-6001)をいただければ、資料をお送りいたします。

賛助会員の年会費

- 個人 1口 1,000円
- 法人又は団体 1口 15,000円
- 特別賛助会員 1口 50,000円

納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただくか、県民会議事務局に直接ご持参ください。

- 西日本シティ銀行千代町支店 (普通預金) 3053033
- 福岡銀行県庁内支店 (普通預金) 526475
- 筑邦銀行福岡営業部 (普通預金) 1597091
- 福岡中央銀行本店 (普通預金) 1030569
- ゆうちょ銀行振替 01700-5-4057



この用紙は、森林資源保護のため再生紙を使っています。